

令和6年2月市議会 総務委員会資料

第6号議案 令和6年度長崎市一般会計予算

<目次>

	ページ
2款 総務費 1項 総務管理費 1目 一般管理費	
11 市民力推進費	
3 市民提案型協働事業実施費	P 4～ 5
12 市民活動推進費	
1 まちづくり活動推進費	P 6～10
2 ながさき元気づくり応援助成事業費	P 11～14
2款 総務費 1項 総務管理費 8目 文化振興費	
2 第40回国民文化祭及び第25回全国障害者芸術・文化祭推進費	
2 ながさきピース文化祭 2025 長崎市実行委員会負担金	P 15～22
3 自主文化事業費	
2 市民参加型舞台公演等開催費	P 23～27
4 文化振興推進費	
4 マダムバタフライフェスティバル開催費負担金	P 28～29
7 【単独】文化施設整備事業費	P 30～37
1 長崎ブリックホール	
2 チトセピアホール	
3 遠藤周作文学館	

2 款	総務費	1 項	総務管理費	1 3 目	男女共同参画推進費	
3	【単独】男女共同参画推進施設整備事業費					
1	男女共同参画推進センター設備整備					P 3 8 ~ 4 1
2 款	総務費	1 項	総務管理費	1 5 目	地域・交通安全推進費	
1	地域安全推進費					
4	暴力追放「いのちを守る」長崎市民会議事業費負担金					P 4 2 ~ 4 3
2 款	総務費	3 項	戸籍住民基本台帳費	1 目	戸籍住民基本台帳費	
2	戸籍住民基本台帳費					
7	個人番号カード推進事業費					P 4 4 ~ 4 9
4 款	衛生費	1 項	保健衛生費	1 0 目	火葬場費	
4	【単独】火葬場施設整備事業費					
1	火葬炉改修ほか					P 5 0 ~ 5 1
7 款	商工費	1 項	商工費	1 目	商工総務費	
4	消費者行政費					
1	消費生活相談費					P 5 2 ~ 5 5
1 0 款	教育費	7 項	保健体育費	3 目	体育振興費	
1	社会体育振興費					
4	社会体育行事開催費					P 5 6 ~ 5 7
5	プロスポーツ応援事業費					P 5 8 ~ 5 9

10款 教育費 7項 保健体育費 4目 体育施設費

4 【単独】体育施設整備事業費

1 淵中学校運動場 P 6 0 ~ 6 1

10款 教育費 7項 保健体育費 5目 市民プール費

2 【単独】市民プール施設整備事業費

1 市民総合プール P 6 2 ~ 6 3

市民生活部
令和6年2月

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
108～111	² 総務費	¹ 総務管理費	¹ 一般管理費	11 - 3	市民提案型協働事業実施費	千円 352

1 現状及び対応方針

市内で開催されるスポーツイベントにおいて、ケガや事故に対する体制が十分ではない場合があることから、スポーツイベントにおいて、ケガに対するサポート体制を充実させるとともに、指導者、保護者等を対象にケガの予防や事故発生時における対応に関するセミナーを開催し、市民が安心してスポーツを楽しむことができる環境を整える。



2 事業概要

市民提案型協働事業として、スポーツイベントにおけるケガや事故の対応や、ケガの予防及び事故発生時における対応に関するセミナーを実施する。

(1) 事業内容

ア 大会救護トレーナー(年20回程度)

スポーツイベントにおいて、医療系国家資格者(柔道整復師、鍼灸師、理学療法士等)を派遣し、事故発生時の応急処置及び救急搬送の見極めを行う。

イ ケガ予防と運動能力向上セミナー(年3回程度)

選手・指導者・保護者等、スポーツに関わる方々に対し、スポーツ医科学的な視点からストレッチ、トレーニング、動作指導等の体験型のセミナーを開催し、ケガの予防と運動能力向上を図る。

・対象:指導者、保護者、選手、競技団体(大会主催者)

(2)実施団体名 ニュースタ長崎(協働事業提案団体:柔道整復師、理学療法士等で構成される団体)

(3)事業費 補助金 352千円
440千円(謝礼金:303千円、衛生材料費(テーピング、消毒液等)等:137千円)の
4/5を補助

3 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他 ※	一般財源
千円 352	千円 —	千円 —	千円 —	千円 352	千円 —

※ 長崎伝習所基金繰入金 352千円

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
108～111	2 総務費	1 総務管理費	1 一般管理費	12-1	まちづくり活動推進費	千円 100, 864

1 現状及び対応方針

【現状】

- ・自治会は、様々な加入促進策の取組みを実施しているものの、自治会加入率は毎年少しずつ低下し、令和5年4月時点では63.8%となっており、加入しない理由としては、「自治会の存在、活動内容が分からない」が17.0%（R4市民意識調査）となっている。
- ・地域コミュニティ連絡協議会の設立は、全80地区（想定）のうち、令和6年2月時点で半分以上の44地区で取り組まれており、地域内の団体同士の連携が進んできている一方で、まとめ役となる団体や担い手が不足していることなどの理由により、地域コミュニティ連絡協議会の設立に向けての検討に至っていない地区もある。
- ・市民活動団体は、コロナ禍の影響や会員の高齢化等により、活動を休止している団体や活動の継続に課題を抱えている団体もあり、市民活動センターの登録団体数も微減している。

【対応方針】

- ・自治会やNPO、地域コミュニティ連絡協議会をはじめとする団体の地域活動の顕在化や活性化による加入・参加の促進を図る。
- ・地域活動の参加機会の創出やICTの活用促進により担い手不足の解消を図る。

〈区分別対応策〉

(1) 加入・参加促進策

ア 地域活動の顕在化

特徴のある自治会・協議会・NPO団体の活動のPR映像制作とTVCM放映

➤ 市民主体のまちづくり活動PR事業

イ 地域活動の活性化

新規性・独自性のある地域活動、芸術文化活動の資金調達支援

➤ ながさき元気づくり応援助成事業

(2) 担い手不足解消策

ア 地域活動への参加機会の創出

企業・団体職員等の地域活動参加機会の創出につながる制度の創設支援等

➤ ながさき型地域貢献企業等認定事業

イ ICTの活用促進

電子回覧板等を始めとしたコミュニティアプリ等を活用した情報共有等の支援による負担軽減

➤ 自治会デジタル化支援事業

2 事業概要

(1) 市民主体のまちづくり活動PR事業(新規事業)

ア 事業内容

地域活動の担当課(自治振興課、市民協働推進室、地域コミュニティ推進室)が連動する形で各団体の取組等を紹介する動画を制作し、各種団体の活動内容や必要性(意義)を市民に認知してもらえるよう、SNSやテレビを使って発信する。

イ 事業費 5,242千円

(ア) 動画制作 3分ver3本、15秒ver3本

(イ) SNS広告 YouTube30万回、Instagram30万回、X30万回

(ウ) テレビCM広告 テレビCM(4局150本)、番組放送1回を予定



2 事業概要

(2) 自治会デジタル化支援事業（新規事業）

ア 事業内容

電子回覧板等の機能を備えた地域交流アプリを導入し、自治会会員同士の情報共有や長崎市からのお知らせ(回覧文書)を電子回覧板機能により閲覧するなどのモデル事業に各自治会に参加していただく。

なお、モデル事業として3年間の予定でアプリの導入を進める(令和6年度は30自治会を対象とする)。

イ 事業費 4,634千円

(ア)謝礼金 300千円

1自治会あたり経費分として10千円×30自治会

(イ)委託料 4,334千円

システム利用料、導入支援に係る研修会の開催、
課題検証に係る年間報告書の提出など

ウ 想定スケジュール

R6:導入

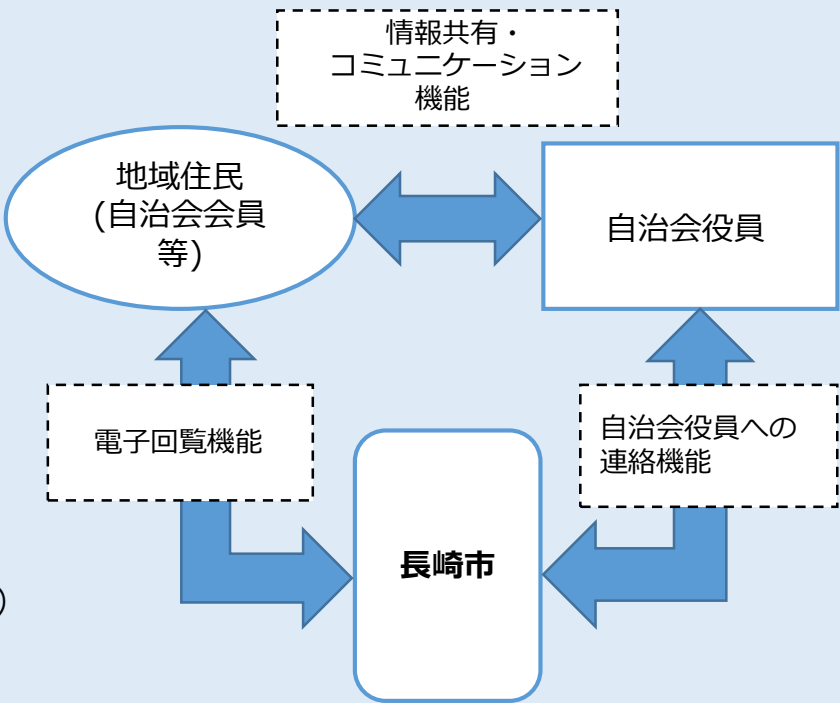
事業者の決定

参加自治会の募集

参加自治会への事業内容等説明

(地域センターと連携)

R7～8:事業継続(R7は35自治会、R8は40自治会)



2 事業概要

(3)ながさき型地域貢献企業等認定事業(新規事業)

ア 事業内容

自治会、防犯協会、地域コミュニティ連絡協議会、PTAなどの各種地域団体が参画する地域貢献活動に従業員が参加しやすくなるように環境を整え(休暇制度の創設・市内での地域貢献活動への参画など)た企業等を市が「地域貢献活動事業所」として認定する。認定事業所については市ホームページに活動内容等を掲載するとともに、入札制度における優遇措置を実施予定。

イ 事業費 250千円

(ア)休暇整備支援事業

事業所が従業員の休暇制度を整備するにあたり、専門家等へ相談するための支援を行う。

(イ)ロゴマーク作成委託

認定事業のシンボルとなるロゴマークの作成等

(4)自治会広報ながさき等配布謝礼 76,464千円

市や県の広報誌を各世帯に配布していただくことに対して、謝礼金(1世帯につき年間648円)を支払うもの。

(5)住民活動保険にかかる事業 9,351千円

自治会の様々な活動に市民が安心して参加できるようにするため、市が損害保険会社と保険契約を締結し、自治会活動中に発生した事故について補償するもの。

2 事業概要

- (6) 自治会広報掲示板設置補助 1, 680千円
自治会の広報活動の一環として、住民相互の情報伝達の迅速化及び確実化を図るため設置する掲示板の費用に対して補助するもの。
- (7) 自治会運営に関する研修 678千円
自治会運営のために必要な知識等を身につけるための研修等を開催する。
- (8) 自治会加入促進にかかる事業 2, 060千円
地域の課題を解決するために、多くの市民に自治会に加入してもらうことを呼びかけるため、チラシや広報ながさきの折り込み等を作成し配布する。

3 財源内訳

区分	事業費	財 源 内 訳				
		国庫支出金※1	県支出金※2	地方債	その他※3	一般財源
予算額	千円 100, 864	千円 2, 167	千円 9, 915	千円 —	千円 52	千円 88, 730

※1 デジタル田園都市国家構想交付金(デジタル実装タイプ) 国庫補助率 対象事業費(4, 334千円)の1/2
※2 長崎県市町権限移譲等交付金
※3 長崎伝習所基金繰入金、認可地縁団体告示事項証明手数料、認可地縁団体印鑑登録証明手数料

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
108～111	2 総務費	1 総務管理費	1 一般管理費	12-2	ながさき元気づくり応援助成 事業費	千円 10,092

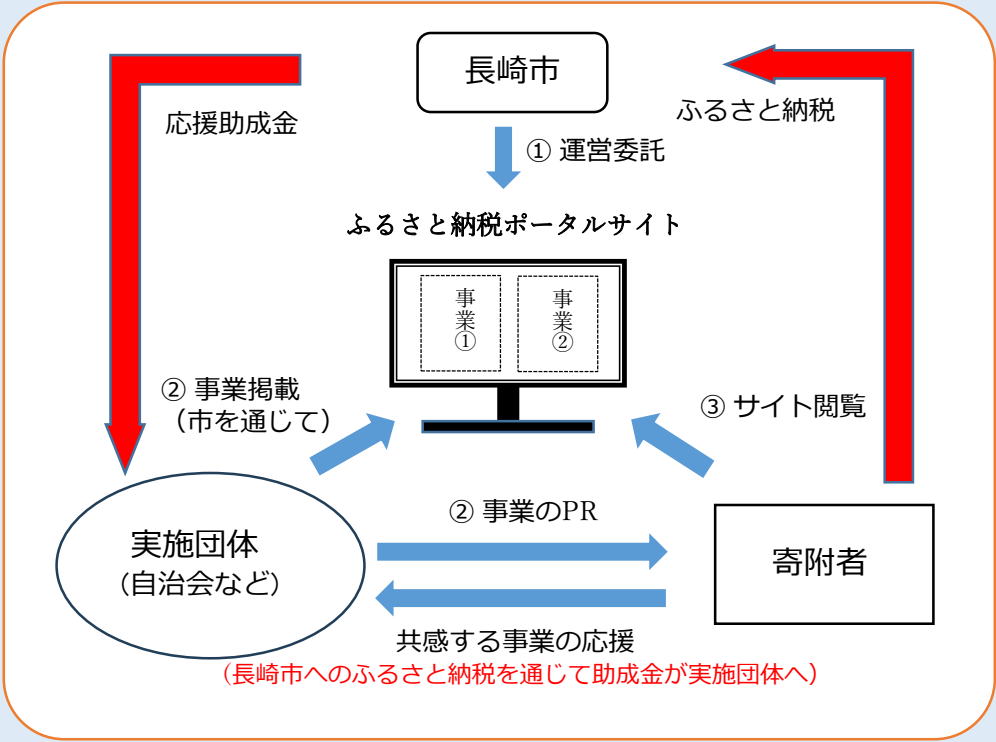
1 現状及び対応方針

【現状】 令和4年度市民意識調査によると、地域活動、市民活動へ協力したい市民が8割を超えているが、実際に参加している市民は4割弱にとどまっており、さらに人口減少と少子高齢化も相まって、地域コミュニティの核である自治会の加入率も減少が続いており、自治会への加入促進及び地域活動の担い手の確保は持続可能な地域づくりにおいて喫緊の課題である。 【対応方針】 自治会と様々な団体・事業者が連携して実施する地域の元気づくりにつながる多様な取組みをクラウドファンディング型ふるさと納税で支援することを通じて、自治会及び地域の活動内容への理解を促進し、地域課題の解決につなげるとともに、クラウドファンディング型ふるさと納税による資金確保のプロセスにおいて、市外居住者のふるさと納税への共感を得ながら地域の活性化につなげる。 ※クラウドファンディング型ふるさと納税：目的金額、募集期間等を定め、特定の事業にふるさと納税を募るもの。
--

2 事業概要

自治会と様々な地域団体などが連携して市内で実施する地域力や芸術文化活動等の活性化を図るための新規性・独自性のある自主的かつ主体的なまちづくり活動の取組みに対し、寄附額に応じて「ながさき元気づくり応援助成金」を事業別に交付する。 (1)ながさき元気づくり応援助成金 10,000千円(2,000千円×2件、1,000千円×6件) (2)ながさき元気づくり応援助成事業選定審査会(2回開催) 報酬等 92千円

2 事業概要



3 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他 ※	一般財源
千円 10,092	千円 —	千円 —	千円 —	千円 10,000	千円 92

※ がんばらんば長崎市応援寄附金

(参考) 想定される取組み



○島内観光客貸出用の電動自転車購入

○戸根川の清流を活かしたホテルの保護と桜の植栽による名所の整備

○ゆうこうの郷づくり（製品開発）
○棚田
○ホテルの名所
○外海出津集落

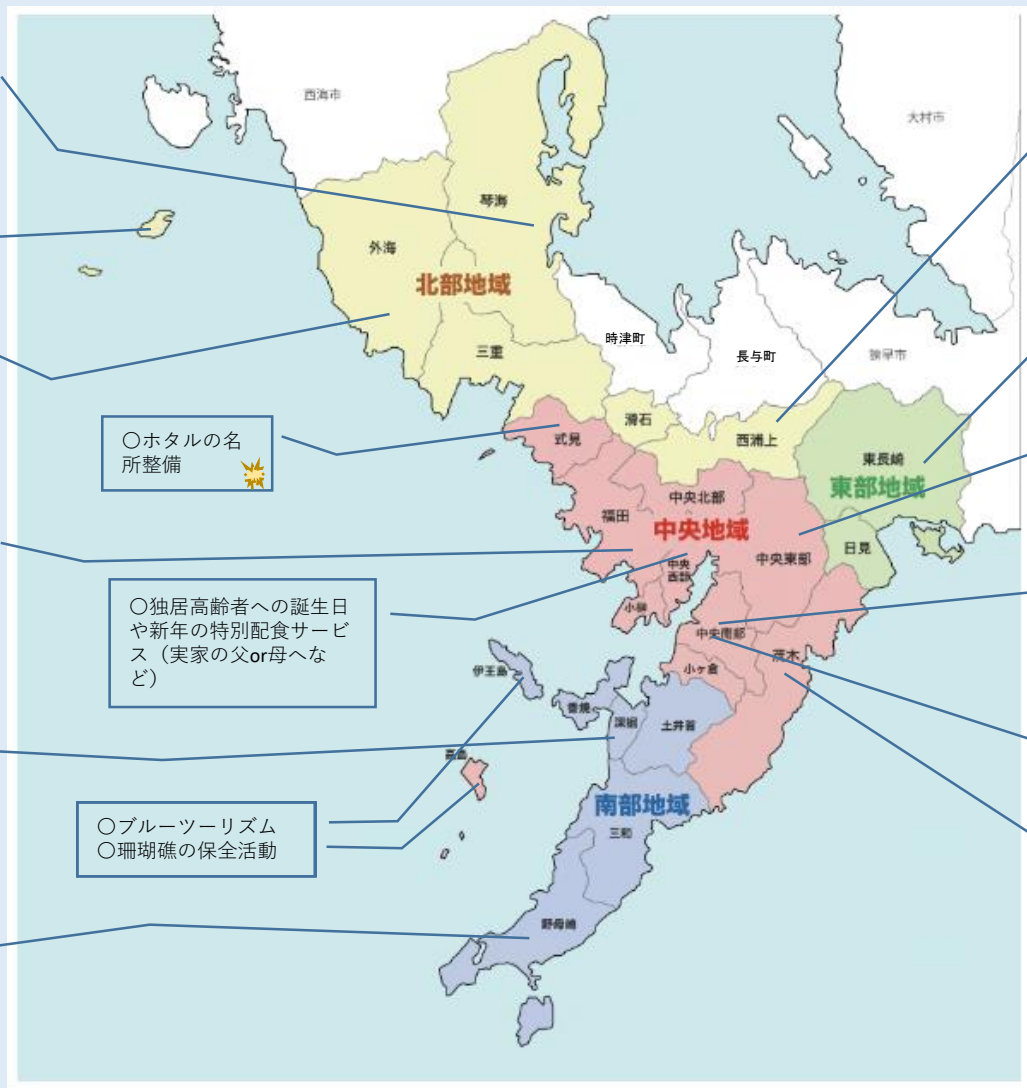


○地区の若人による花火打上げイベントの実施
○休耕田を活用した多世代交流広場整備と伝統野菜の収穫体験

○ゆうこう製品開発
○南部地区若人による音楽祭の開催



○恐竜パークと南部地域の連携による地域周遊アプリを活用したスタンプラリー



○ホテルの名所整備

○独居高齢者への誕生日や新年の特別配食サービス（実家の父or母へなど）

○ブルーツーリズム
○珊瑚礁の保全活動

○浦上そぼろのNPO・商店街・地域住民協働による家庭レシピの継承とボルトガルとの交流事業

○長崎街道（日見峠～井樋の尾峠下）の説明板整備
○ホテルの名所（八郎川）

○長崎白菜・長崎たかな等伝統野菜の振興と郷土料理の伝承

○アニオー姫を題材とした市民文化芸術活動とくもんち踊町の連携によるベトナムとの交流事業

○駅周辺及びまちなかにおける地元商店街と地域の連携による音楽祭の開催

○地区の若人による花火打上げイベントの実施
○苓北町との連携事業



(参考)実施スケジュール案

ながさき 元気づくり応援 助成事業	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11 月	12 月	1月	2月	3月
予算審議	●			●			●			●			
審査会		●		●									
募集・選定		4/15～5/31											
クラウドファン ディング				準備	7/1～9/30（延長可）								
交付申請・決定								●					●
事業実施		準備・調整						事業実施					

予 算 説 明 書					事 業 名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
120～123	2 総務費	1 総務管理費	8 文化振興費	2-1	ながさきピース文化祭2025 長崎市実行委員会負担金	14,000千円

1 現状及び対応方針

令和7年度に長崎県で開催される「第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭」(ながさきピース文化祭2025)に向け、長崎市実行委員会を設置し、市内で開催する分野別交流事業(全国大会)の受入れ調整や地域の文化資源及び観光資源を活用した事業(地域文化発信事業)等の検討を行っている。

令和6年度は、市実行委員会において、市内で実施する事業の事業計画策定等、開催に向けた準備をさらに進めつつ、プレイベントの実施など様々な機会・媒体を通じ、県及び他市町と一体となり、令和7年度の開催に向けた気運の醸成を図るもの。

2 事業概要

長崎市実行委員会負担金 14,000千円

(1) 市内で開催する事業の実施に向けての検討

実施事業の検討、実施団体との協議、事業計画の策定等を行うとともに、先催市(令和6年度開催の岐阜市等)における事業の開催状況等の調査を行う。

先催市への調査旅費、事業計画等の策定、会議の開催にかかる経費 4,030千円

(2) 開催気運の醸成を図るための事業

ア プレイベントの実施

① 内容(案) 市内で開催する全国大会を紹介するイベント、市内出身アーティスト等による講演会等

② 開催時期 令和6年10月～令和7年2月

イベント企画運営業務委託に係る経費 7,000千円

イ 広報グッズの作成

広報グッズについては、県から一部提供される予定であるが、不足する分について作成する。

クリアファイル、手提げ袋などの作成に係る経費 2,970千円

3 スケジュール

	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
長崎市実行委員会	● 令和6年度第1回			● 令和6年度第2回
事業計画等策定	→			
プレイベント実施	企画・契約・開催準備			1回目 → 2回目
広報グッズ作成	企画・制作 →		イベント等で配付 →	

4 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他※	一般財源
千円 14,000	千円 —	千円 —	千円 —	千円 14,000	千円 —

※ 文化国際交流基金繰入金

5 参 考

(1) 国民文化祭

観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業その他の各関連分野における施策と有機的に連携しつつ、地域の文化資源等の特色を生かした文化の祭典であり、伝統芸能や文学、音楽、美術などの各種芸術、食文化などの生活文化等の活動を全国規模で発表、共演、交流する場を提供するとともに、文化により生み出される様々な価値を文化の継承、発展及び創造に活用し、一層の芸術文化の振興に寄与するもの。(文化庁ホームページ抜粋)

(2) 全国障害者芸術・文化祭

障害者の芸術文化活動への参加を通じて、障害者の生活を豊かにするとともに、国民の障害への理解と認識を深め、障害者の自立と社会参加の促進に寄与するため、全国持ち回りで開催している。平成29年度から、国民文化祭と一体的に開催。(厚生労働省ホームページ抜粋)

(3) 近年の開催状況

都道府県持ち回りで毎年開催されており、令和7年度は長崎県で開催される。

開催年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
開催県	沖縄県	石川県	岐阜県	長崎県	高知県

(4) 長崎県での開催概要

- ア 名 称 第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭
- イ 会 期 令和7年9月14日(日)～11月30日(日) 78日間
- ウ 愛 称 「ながさきピース文化祭2025」
- エ キャッチフレーズ 「文化をみんなに」

オ 主な事業内容

(ア) 開閉会式【県主催】

開会式 令和7年9月14日（日） 会場 アルカスSASEBO（佐世保市）

閉会式 令和7年11月30日（日） 会場 長崎ブリックホール（長崎市）

(イ) 分野別交流事業【県内市町と文化団体の共催】

全国から出場者や出品者を募集し、分野ごとに行う全国規模の発表会や公演、展覧会、交流会

(ウ) 地域文化発信事業【県内市町、文化団体の主催・共催】

各地域の文化資源や観光資源を活用し行う事業（障害者交流事業含む）

(エ) 県主催事業

長崎県の文化芸術資源を活用した交流人口拡大や地域振興につながる広域的な事業

(オ) 障害者芸術・文化祭事業【県・県内市町・障害者関係団体の共催】

障害のある人の芸術文化活動の発表の場を創出することにより、障害に対する理解を深め、障害のある人の自立と社会参加の促進につなげる事業

(5) 第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎市実行委員会

ア 設立日 令和6年2月16日

イ 構成 31人（会長：長崎市長 委員：文化団体や障害福祉団体のほか、平和、学校、経済等様々な団体の代表者で構成）

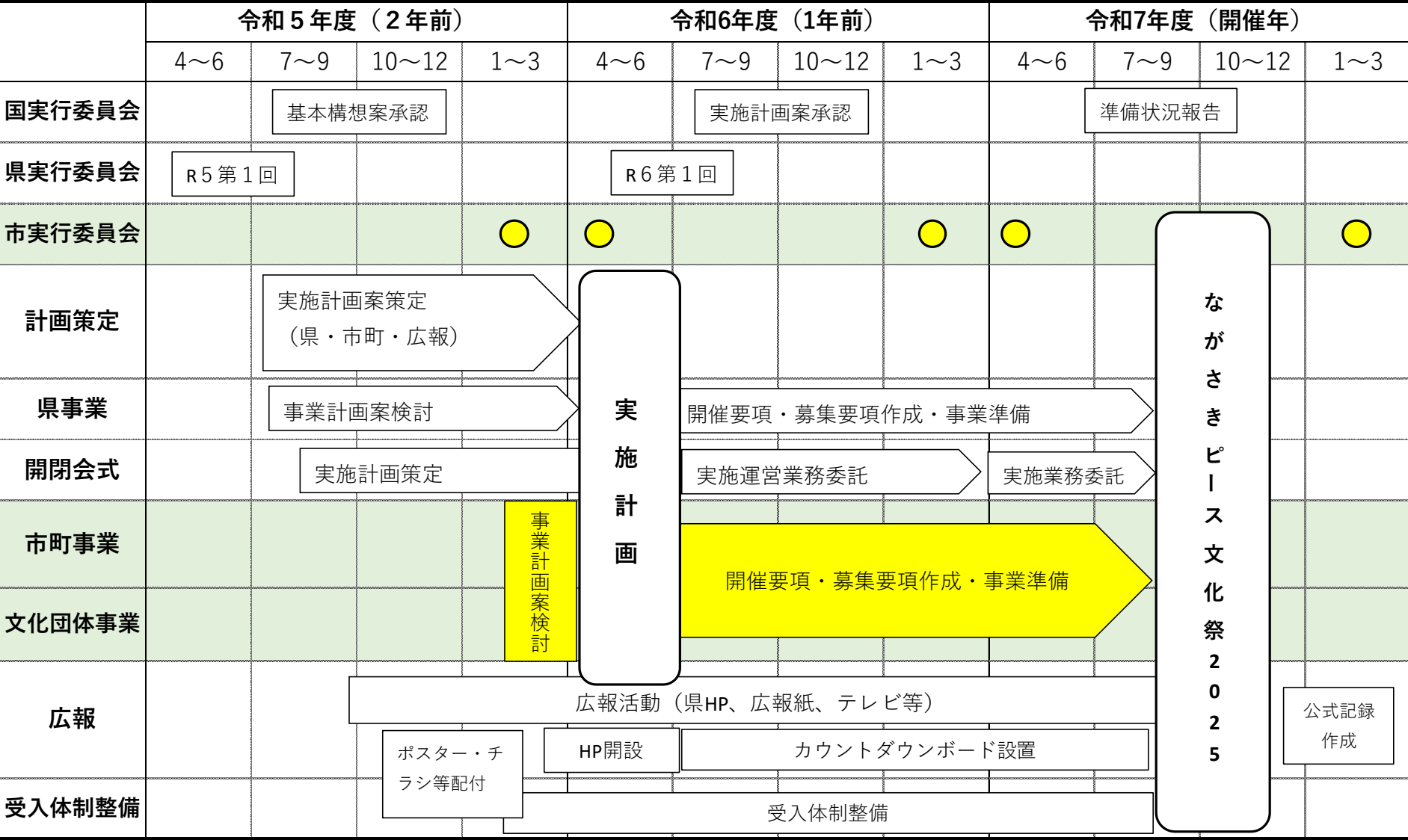
ウ 事業 ①主催事業の開催に必要な企画及び運営等に関すること。

②ながさきピース文化祭2025の機運醸成に必要な事業の企画及び実施等に関すること。

③関係機関及び団体との連絡調整等に関すること。

④前各号に掲げるもののほか、実行委員会の目的を達成するために必要な事項に関すること。

参考：第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭の開催に向けたスケジュール概要



長崎市内で実施予定の事業概要（調整中案）

（１）分野別交流事業

種目名	開催年月	事業概要	種目名	開催年月	事業概要
① 邦楽	R7.10 (調整中)	地域・流派・アマチュア・プロを超えてすべての邦楽愛好家を対象に、コンサートや、演奏家・作曲家によるワークショップを開催	⑤ 大正琴	R7.11 (調整中)	全国の大正琴愛好者による団体演奏と、高校生以下を対象とした「全国子供大正琴コンクール」の一次選考会上位者による最終選考会を開催
② 合唱	R7.10 (調整中)	歴史ある長崎の街のシンボルの一つである浦上教会（浦上天主堂）で、県内外の合唱団による平和への思いを一つに祈りのハーモニーを奏でる祭典を開催	⑥ 健康マージャン	R7.11 (調整中)	全国の予選を勝ち上がった子どもから高齢者まで集うマージャン大会の開催のほか、有名雀士とのふれあい対局やマージャンの歴史と文化に関する展示を実施
③ 川柳	R7.10 (調整中)	国内外から川柳作品を募集し、審査を通して入賞者の表彰や選評などを行い、川柳愛好者相互の交流を深める祭典を開催	⑦ いけばな	R7.11 (調整中)	日本を代表する各流派の華道家の作品や、県内各地で活動している子どもから大人までのいけばな作品を展示
④ かるた	R7.11 (調整中)	全国から代表チームが集い、小倉百人一首競技かるたの団体戦を開催			

（邦楽）

（合唱）

（川柳）

（かるた）

（いけばな）



（大正琴）

（健康マージャン）



参考：《出典：いしかわ百万石文化祭パンフレット》

（２）地域文化発信事業

長崎県（実行委員会）策定の「第４０回国民文化祭、第２５回全国障害者芸術・文化祭 基本構想」を踏まえ、長崎市の文化資源や観光資源を活用した事業を実施することにより、全国へ長崎市の芸術文化及び平和の大切さなどを発信する。

また、障害のある人もない人も一緒に参加し交流できる芸術文化事業を実施する。

なお、ながさきピース文化祭 2025 の開催を契機とし、開催後も、継続した文化振興に資する内容とする。具体的な事業については、文化団体や関係部局等と調整のうえ、令和６年４月（予定）の市実行委員会において提案することとしている。

（実施事業のイメージ）

ア 現在、継続して実施している芸術文化事業を一部拡大（国外の団体との交流や、募集範囲の拡大など）した事業

イ 障害のある人の芸術文化活動と連携した事業

ウ ながさきピース文化祭 2025 を契機とした、長崎市の地域資源・文化資源を活用した事業

エ 世界遺産登録 10 周年など、記念事業と連携した事業

オ 被爆 80 年事業や、平和の文化事業と連携した事業

参考：地域文化発信事業実施イメージ

（わくわく子ども国民文化祭）



（金沢食文化フェスタ）



（金沢の無形民俗文化財共演会）



（オペラ「禅」～ZEN～ version2.0）



（アウトサイダー・アート作品展）



参考：《出典：いしかわ百万石文化祭パンフレット》

ながさきピース文化祭2025

第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭

令和7年9月14日①→11月30日②

発表・共演・交流の機会が
文化をもっと豊かに面白くする
日本中が参加する文化の祭典

文化をみんなに



ながさきピース文化祭2025

第40回国民文化祭

第25回全国障害者芸術・文化祭

令和7年9月14日①→11月30日②

ながさき
ピース文化祭
2025とは

第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭の統一名称(愛称)です。

ピース(平和)な時代だからこそ、文化を思いきり楽しめる!

文化で生まれる交流が、ピースを育む! 文化芸術を通じて、

平和を長崎から国内外へ発信しようという思いを込めています。

キャッチフレーズ

文化を みんなに

文化は一定の人だけのものではなく、
みんなのもの! みんなで楽しめるもの!
文化には人と人をつなげる力がある
という思いを込めています。

ロゴマーク



平和の象徴「鳩」と、文化を育み、未来へ
と繋ぐ「手」がモチーフです。
ブルーは海外との文化の架け橋となった
「長崎黒の海」をイメージしています。
「ピース」に込められた平和の願い、
文化芸術を通じて生まれるハッピーな
交流、そして、手を差し伸べてお互いが
助け合う思いやりを表現しています。

基本方針

歴史を継承し、未来へ つなぐ海外交流	文化芸術による まちづくり	文化資源を活かした 観光の推進
若者や子ども達が 創り出す新しい文化と ながさきの未来	文化芸術を通じた 平和の継承	心のバリアフリー の推進

開会式

令和7年9月14日①

アルカスSASEBO
(佐世保市)

閉会式

令和7年11月30日②

長崎ブリックホール
(長崎市)

スペシャルアンバサダー

アンバサダー



ながさきピース文化祭2025のスペシャル
アンバサダーとして、県内隔々の文化を日本
中に発信していきます。皆さまと一緒に
文化祭を盛り上げていきましょう。

シンガー・ソングライター さだまさし氏

主催

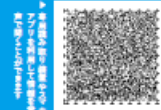
文化庁、厚生労働省、長崎県、
県内市町、長崎県実行委員会、
市町実行委員会、文化団体、
障害者関係団体等

問い合わせ先

第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭
長崎県実行委員会事務局(長崎県文化振興・世界遺産課内)
〒850-8570 長崎県長崎市尾上町3-1
TEL:095-895-2745 FAX:095-829-2336



webサイトはこちら



音声コード Unit-Voice

予 算 説 明 書					事 業 名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
120～123	2 総務費	1 総務管理費	8 文化振興費	3-2	市民参加型舞台公演等開催費	千円 2, 6 5 9

1 現状及び対応方針

市民が芸術文化活動を行う機会を増やし、市民の自主的な芸術文化活動の活性化を図るとともに、芸術文化に身近に触れる機会を創出するため、演劇、音楽、舞踊、文学、美術等の幅広い芸術文化分野を網羅した舞台公演を台本制作から上演まで市民と一緒に創りあげる事業や講師が学校に直接出向くアウトリーチ事業を実施するもの。

2 事業概要

(1) 事業期間 令和6～7年度（演劇アウトリーチ事業を除く）

(2) 総事業費 12, 196千円

〔内訳〕 令和6年度当初予算 2, 659千円（市民参加型舞台公演、演劇アウトリーチ事業）

債務負担行為設定額 9, 537千円（市民参加型舞台公演）

年度内訳	事業費	財源内訳	
		チケット売払収入	一般財源
令和6年度	2,659	—	2,659
令和7年度	9,537	1,170	8,367
合計	12,196	1,170	11,026

2 事業概要

(3) 事業内容(令和6年度)

ア 市民参加型舞台公演準備 1,620千円

長崎ブリックホールの開館当初から継続的に取り組んでいる市民参加型舞台公演について、戯曲(=演劇の台本)講座の実施や市民出演者オーディションの実施、舞台公演の企画等を行う。

イ 演劇アウトリーチ(講師が学校に直接出向いて実施する演劇体験)の実施 1,039千円

3 スケジュール

(1) 市民参加型舞台公演

	令和6年度				令和7年度		
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
戯曲講座		←→					
舞台構成、企画、 全体調整等準備			←	→			→
オーディション				↔			
舞台公演に向けた 準備・本番					←	→	●

(2) 演劇アウトリーチ

	令和6年度			
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
実施校募集		↔		
実施		←	→	

4 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円 2, 659	千円 —	千円 —	千円 —	千円 —	千円 2, 659

債務負担行為		期 間	限度額 (設定額)
ページ	事 項		
334～335	市民参加型舞台制作等委託	令和7年度	9, 537 ^{千円}

1 概要

市民参加型舞台公演については、市民の舞台公演への興味・関心を高め裾野の拡大を図るため、台本制作から上演まで市民と一緒に創りあげることとしているが、舞台公演の準備期間として1年程度要し、年度内に事業が完了しないことから債務負担行為の設定を行うもの。

2 債務負担行為限度額

令和6年度	令和7年度	合計
-	9, 537千円	9, 537千円

3 事業概要

(1) 市民参加型舞台公演準備、演出、台本作成、演技指導等 9, 537 千円

ア 公演内容

- (ア) 開催時期 令和7年11月(予定)
- (イ) 場 所 長崎ブリックホール
- (ウ) 出演者 市民、市民演奏家 など
- (エ) 入 場 料 大人2,000円、大学生以下1,000円(予定)

4 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他※1	一般財源
千円 9, 537	千円 —	千円 —	千円 —	千円 1, 170	千円 8, 367

※ チケット売払収入

予 算 説 明 書					事 業 名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
120～123	2 総務費	1 総務管理費	8 文化振興費	4-4	マダム・バタフライフェスティバル開催費負担金	5,000 千円

1 現状及び対応方針

オペラ「マダム・バタフライ」をテーマとした音楽フェスティバル「マダム・バタフライフェスティバル」の実施に向け、プッチーニの生誕地イタリア・ルッカ市からゲストアーティストを迎え、質が高く長崎らしいコンサートを行うなど、子どもから大人まで楽しめる音楽フェスティバルを実施する。

2 事業概要

(1) 事業内容

ア 親子で楽しめるクラシックコンサート

(ア) 開催時期 令和7年2月(予定)

(イ) 場 所 長崎ブリックホール 国際会議場

(ウ) 出演者

- ・ ジリオ劇場及びプッチーニ財団（イタリア・ルッカ市）
推薦のオペラ歌手（2人）
- ・ マダム・バタフライ国際コンクールin長崎入賞者
- ・ 市民演奏家 など

(エ) 入 場 料 大人2,000円、大学生1,000円（予定）



2 事業概要

イ たのシックフェスティバル

(音楽や楽器の体験型イベント)

(ア) 開催時期 令和7年2月(予定)

(イ) 場 所 長崎ブリックホール リハーサル室、練習室ほか

(ウ) 内 容 手作り楽器の制作、リズム遊び、楽器の体験、
ミニコンサート、音楽クイズなど

(エ) 入 場 料 無料

(2) 実施主体 ながさきUTAOTO委員会

構成：長崎市、市内音楽団体、大学など（事務局：長崎県音楽連盟）

(3) 事業費 総事業費：5,686千円、うち長崎市負担金 5,000千円



収入	入場料収入、協賛金、長崎市負担金など	5,686千円
支出	出演料、演出料、その他諸費など	5,686千円

3 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金 ※1	地方債	その他 ※2	一般財源
千円 5,000	千円 —	千円 1,500	千円 —	千円 1,000	千円 2,500

※1 長崎県文化芸術活動ブラッシュアップ事業補助金

※2 文化国際交流基金繰入金

予 算 説 明 書					事 業 名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
120～123	2 総務費	1 総務管理費	8 文化振興費	7	【単独】文化施設整備事業費	千円 561, 400
				-1	長崎ブリックホール	539, 300
				-2	チトセピアホール	3, 500
				-3	遠藤周作文学館	18, 600

1 現状及び対応方針

長崎ブリックホール及びチトセピアホールについて、経年劣化した設備が故障により作動しなくなった場合、施設の利用に支障が出る恐れがあるため、年次計画に基づき設備の維持補修工事等を行うもの。

また、遠藤周作文学館の空調設備が経年劣化により入替えが必要な状態となっていることから、改修工事を行うもの。

2 施設概要及び事業概要

(1)長崎ブリックホール

ア 施設概要

【開 設】平成10年10月

【施設内容】大ホール、国際会議場、リハーサル室、練習室(3室)、会議室(5室)、和室(2室)、茶室 ほか

利用者数	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
	365, 637人	333, 633人	69, 250人	140, 187人	241, 772人

2 施設概要及び事業概要

イ 事業概要

予算額 539,300千円

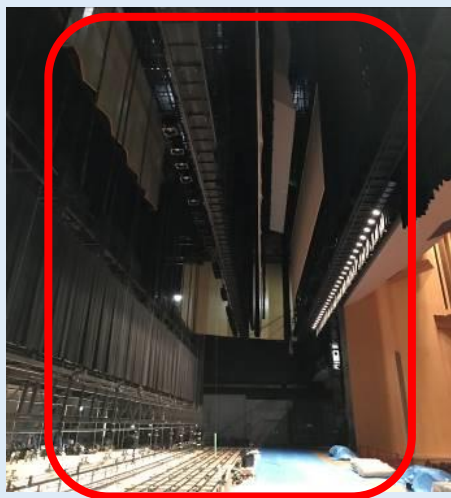
(ア) 大ホール吊物バトン駆動部更新工事

154,000千円

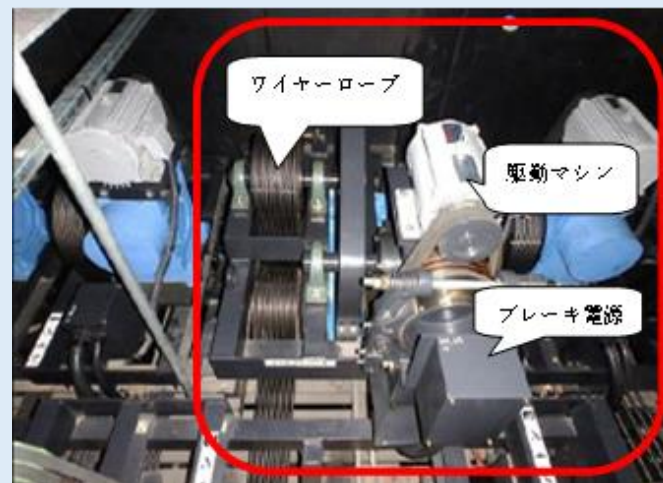
平成10年の開館当初から設置されているもので、通常15～20年の耐用年数を大幅に超過しているため、経年劣化が進行しており、停止時のスリップ等による事故が生じる恐れがあることから、大ホールの舞台吊物機構の操作盤位置表示及び制御盤、緞帳・暗転幕・昇降ギャラリー・側面反射板の駆動部（駆動マシン・ワイヤーロープ・滑車・リミット（停止制御）スイッチ）等の取替を行うもの。

バトン28本など106項目の大ホールの舞台機構について、本来であれば、速やかに全ての交換が推奨されているが、ホールの稼働率が高く長期に及ぶホール休止による影響があることと、費用面を考慮し、令和元年度から9年間の年次計画に基づき、順次更新予定としているもの。

舞台吊物機構
(今回駆動部を更新するバトン等設置場所)



マシン駆動部（舞台上部）



2 施設概要及び事業概要

(イ) 調光器盤更新工事

385,300千円

平成10年の開館当初から設置されているもので、通常15～20年の耐用年数を大幅に超過しているため、各機器の部品等の経年劣化や摩耗が進行しており、現在は、点検時に部品交換による修理に対応しているが、一部の部品については既に製造中止となっており、今後、部品交換による修理不能となる可能性が高い。

また、動作不良による公演や施設運営に与える影響が大きいことから、大ホールの調光器盤の取替を行うもの。

なお、調光器盤は、調光主幹盤、調光分岐盤、調光器盤（調光器ユニット557台）、負荷線中継端子盤から成り立っており、これらは一体型となっていることから一括して更新するもの。

調光主幹盤、調光分岐盤、調光器盤

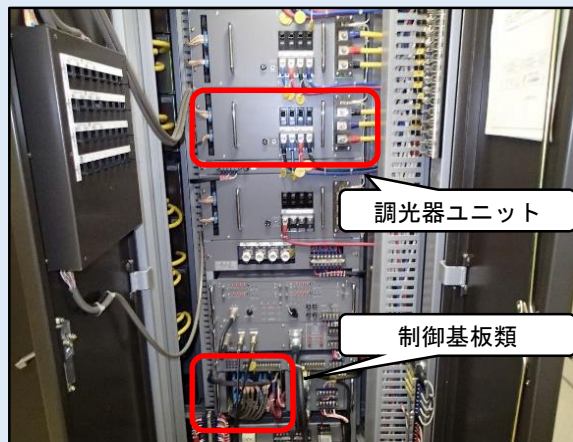


調光主幹盤内部（総主幹）



2 施設概要及び事業概要

調光器盤内部(調光器ユニット、制御基板類)



調光分岐盤内部(分岐主幹)



調光分岐盤内部(切替マグネット)



調光分岐盤内部(切替回路)



床下配線



(2)チトセピアホール

ア 施設概要

【開 設】平成3年11月

【施設内容】ホール、楽屋ほか

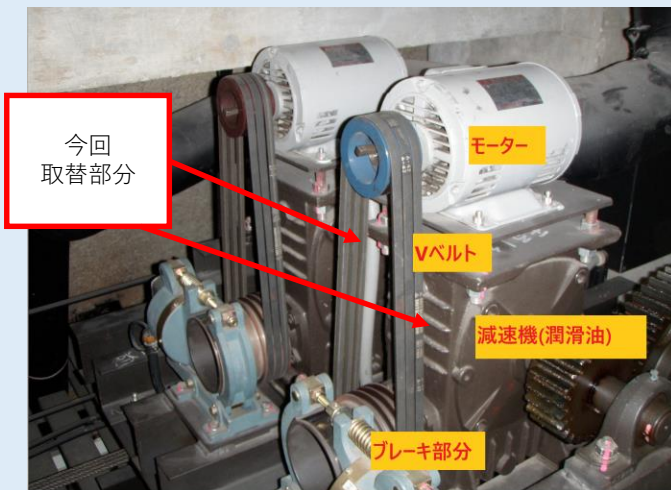
利用者数	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
	46, 533人	42, 694人	7, 674人	10, 675人	22, 538人

イ 事業概要

(ア) 舞台機構設備昇降装置 減速機潤滑油・Vベルト及びマニラロープ取替修繕 3, 500千円

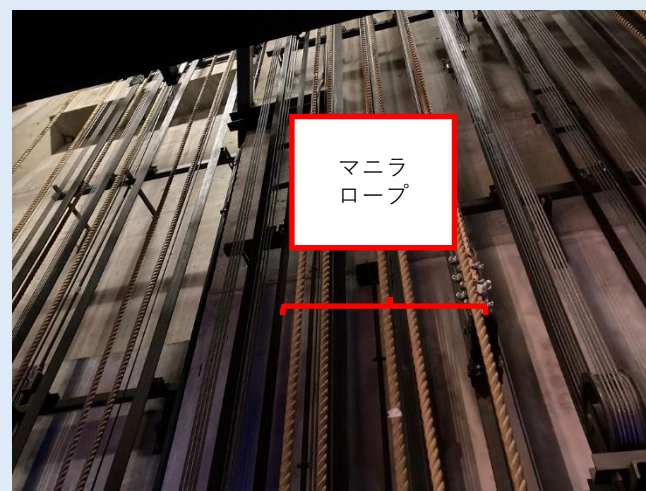
減速機潤滑油・Vベルト（舞台上部に設置）

平成29年度の取替えから6年が経過し、オイルの汚れ及びVベルトの劣化が見られ、減速機の損傷やVベルトが切れた場合、吊物が昇降不能となり、公演に支障が出る恐れがあることから、取替等を行うもの。



マニラロープ（舞台面から上部を望む）

舞台上部設置のボタン等を吊っているマニラロープ10本について、使用頻度により損耗が激しいロープは随時取替えているが、経年劣化により全てのロープに著しい損耗がみられ、ボタン等の落下事故の恐れがあるため、取替を行うもの。



2 施設概要及び事業概要

(3) 遠藤周作文学館

ア 施設概要

【開 設】平成12年5月

【施設内容】展示室、閉架書庫、エントランスホール、ショップ、思索空間アンシャンテほか

利用者数	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
	25, 323人	19, 570人	7, 145人	7, 169人	12, 835人

イ 事業概要

(ア) 空調設備改修工事

18, 600千円

平成12年の開館当初から設置している来館者の観覧環境及び資料の保存環境を整えるための館内空調設備について、機器の経年劣化に伴う空調設備の入替改修工事を行うもの。

空調設備室外機
(館内三系統の室外機及び氷蓄熱ユニット)



空調設備室内ユニット及びダクト類



3 スケジュール

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
長崎ブリックホール	大ホール吊物バトン駆動部更新工事			契約手続(※)		工期							
	調光器盤更新工事			契約手続(※)		工期							
チトセピアホール	減速機潤滑油・Vベルト及びマニラロープ取替修繕			契約手続		工期							
遠藤周作文学館	空調設備改修工事				契約手続		工期						

※7月に仮契約を締結し9月議会の議決を経て本契約を行う。

4 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債※1	その他	一般財源
千円 長崎ブリックホール 539,300	千円 —	千円 —	千円 ※1 485,300	千円 —	千円 54,000
チトセピアホール 3,500	-	-	※2 2,600	-	900
遠藤周作文学館 18,600	-	-	※3 18,600	-	-

※1 公共施設等適正管理推進事業債 充当率 90%(交付税措置率30～50%)

※2 一般単独事業債 充当率 75%

※3 過疎対策事業債 充当率 100%(交付税措置率70%)

予 算 説 明 書					事 業 名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
128～129	2 総務費	1 総務 管理費	13 男女共同 参画推進費	3-1	【単独】男女共同参画推進施設整備事業費 男女共同参画推進センター設備整備	千円 14,500

1 現状及び対応方針

長崎市民会館（昭和48年竣工）内にある男女共同参画推進センター（アマランス）の空調設備が老朽化しているため、市民が快適に安心して施設を利用できるよう設備の更新を行うもの。

2 施設概要

男女共同参画推進センター（アマランス）（長崎市民会館1階）

【開 設】平成4年10月

【施設概要】会議室（4室）、研修室（2室）、和室、交流コーナー、図書情報室、幼児室・授乳室、事務室

【利用者数】

	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者数	53,192人	48,194人	23,970人	24,750人	36,294人

3 事業概要

男女共同参画推進センター(アマランス)の空調設備は、平成4年10月の開設以降更新しておらず、経年劣化により不具合が生じてきているため更新を行うもの。

(1) 男女共同参画推進センターファンコイル式空調機更新工事 14,500千円

更新台数 : 31台

設置箇所 : 会議室(4室)、研修室(2室)、交流コーナー、図書情報室、幼児室・授乳室、事務室

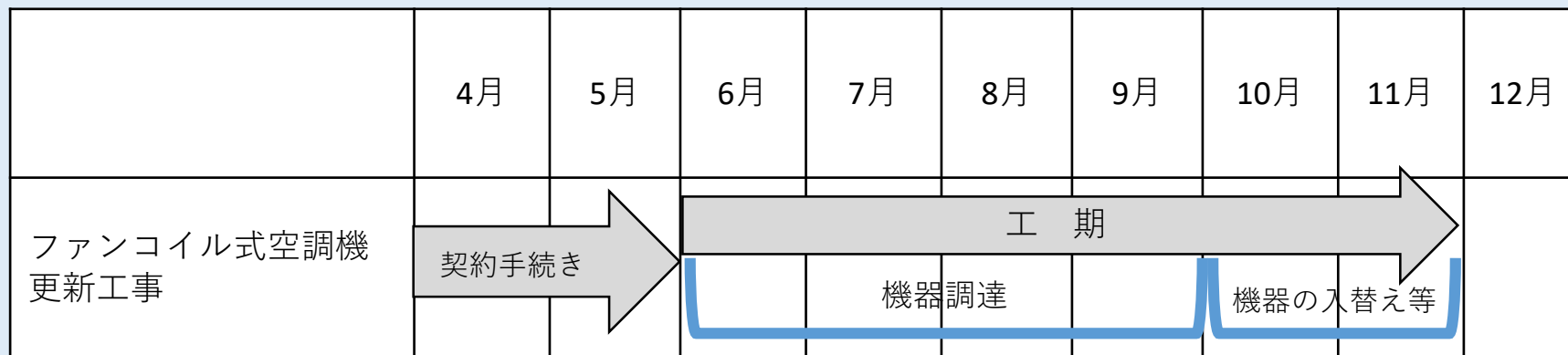
(2) 経費内訳 空調機 9,020千円

工事費等 5,480千円



※ファンコイル式: 市民会館地下2階のメインユニットで作られた温水(もしくは冷水)を循環し、上部装置内にある熱交換コイルで温められた(もしくは冷やされた)空気を送風する仕組みのもの。

4 スケジュール



工 期 : 約6カ月

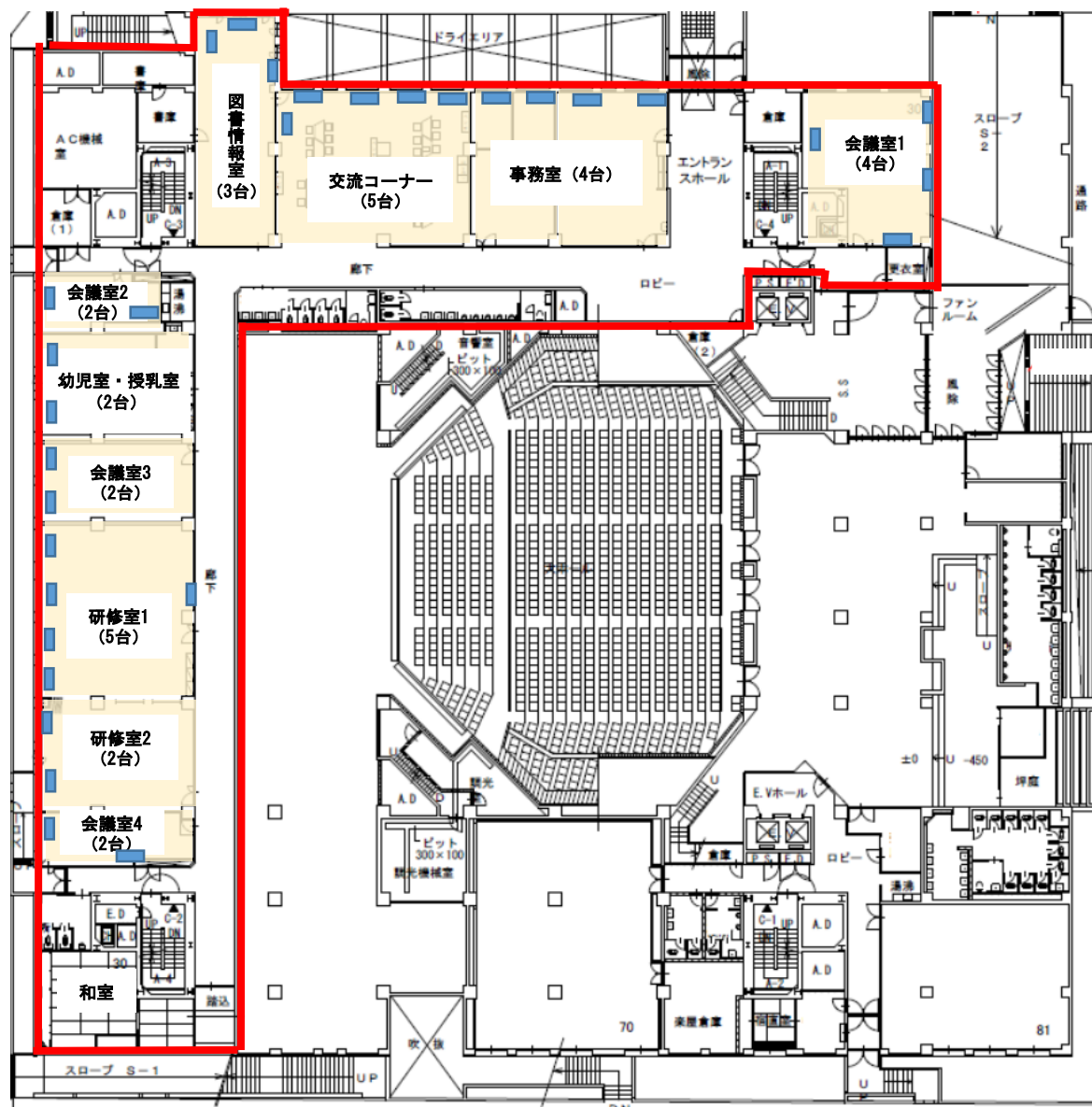
工事期間 : 令和6年10月初旬～11月末(予定)

5 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債※1	その他	一般財源
千円 14,500	千円 —	千円 —	千円 13,000	千円	千円 1,500

※1 公共施設等適正管理推進事業債 充当率90%(交付税措置率30～50%)

(参考) 男女共同参画推進センター（アマランス）平面図



■ 空調機 (31台)

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
130～131	2 総務費	1 総務管理費	15 地域・交通安全推進費	1-4	暴力追放「いのちを守る」長崎市民会議事業費負担金	1,500 千円

1 現状及び対応方針

- 【現状】
- ・伊藤元市長銃撃事件を受けて、長崎市、市民、事業者、関係機関及び関係団体などが一体となって暴力追放に取り組むことにより、市民が安全で安心して暮らすことができる地域社会の実現を図ることを目的に、暴力追放「いのちを守る」長崎市民会議（以下「市民会議」という。）が平成20年4月に発足した。
 - ・市民会議は、全国からの募金で建立した「いのちの碑」製作費の余剰金を基に創設した「暴力追放いのちの基金」を原資として、市民集会や暴力追放パレード等、暴力追放への市民意識の醸成を図る活動を行っている。
 - ・市民会議の活動開始から15年以上が経過するなか、持続可能な活動に向けて、その原資が必要である。

- 【対応方針】
- 令和6年度も『暴力追放「いのちを守る」長崎市民集会』を開催するとともに、新たな取組みとして、長崎市を暴力のない安全・安心なまちにしたいという強い想いを後世に伝え、さらに広げていくため、市民会議のこれまでの取組みと将来へ向けた市民のメッセージなどをまとめた冊子の作成・配布などを行う市民会議の活動原資の確保を支援する。

2 事業概要

- 暴力追放いのちの基金に加え、冊子の作成・配布に係る費用については、クラウドファンディング型ふるさと納税※による全国からの寄附を財源として、市民会議の活動原資を確保する。
- ※クラウドファンディング型ふるさと納税
- 目標金額、募集期間等を定め、特定の事業にふるさと納税を募るもの。

2 事業概要

暴力追放「いのちを守る」長崎市民会議事業費負担金 1,500千円

(1) 暴力追放「いのちを守る」長崎市民集会の開催費 400千円

(2) 冊子作成費 1,000千円

ア 寄附目標金額 1,000千円

・目標金額に達しなかった場合も、寄附額に応じた冊子作成を行う。

イ 募集期間 令和6年4月から6月まで(予定)

ウ 寄附者へのお礼

・今回作成する冊子

・一定の寄附額以上の市外居住者には長崎市から返礼品

(3) 事務費等 100千円

3 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他 ※	一般財源
千円 1,500	千円 —	千円 —	千円 —	千円 1,500	千円 —

※ がんばらんば長崎市応援寄附金 1,000千円
暴力追放いのちの基金 500千円

予 算 説 明 書					事 業 名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
142～143	2 総務費	3 戸籍住民 基本台帳費	1 戸籍住民 基本台帳費	2ー7	個人番号カード推進事業費	千円 140, 278

1 現 状(と課題)

マイナンバーカードは、デジタル社会の基盤となるものであり、国において今年12月には健康保険証との一体化も決定されるなど、今後ますます利便性の向上等が図られることとなっている。

そのような中、マイナンバーカードの取得促進については、令和4年度から実施している商業施設等でのマイナンバーカード出張申請受付業務や国が実施したマイナポイント事業等により、市民の約8割の方が取得している状況となったが、残り約2割の方に取得していただくことが課題となっている。

2 対応方針

健康保険証が一体化される状況等も鑑み、高齢者の取得率が低いことから、窓口への来庁が困難な施設入所者等のもとへ出向き申請受付や交付手続きを行う出張申請受付業務を実施し、更なる取得率向上を図る。

また、マイナンバーカードの取得率向上に向けては、カードを保有することによる更なる利便性向上を図る必要があるため、全庁的に利活用拡大に向けて取り組むこととしている。

3 事業概要

(1) マイナンバーカード出張申請受付業務【変更】

これまでは、ファミリー層を対象に商業施設等での出張申請受付を重点的に行ってきたが、今後は、今年12月に健康保険証が一体化されることが決定した状況等も鑑み、高齢者の取得率が低いことから、窓口への来庁が困難な施設入所者等を対象に申請受付や交付手続きを行う出張申請受付業務を実施し、市民がマイナンバーカードを申請しやすい環境を整える。

(2) 申請サポート及び顔写真無料撮影サービス(各地域センター)【継続】

申請手続きに必要な顔写真を無料で撮影するとともに申請のサポートも行うなど、市民の申請に係る利便性の向上を図る。

(3) 交付窓口の休日開庁及びカード交付予約システムによる受付【継続】

平日に窓口へ来庁できない方のために、一部の地域センターにおいて、休日(日曜日)にマイナンバーカードの交付や電子証明書の手続きを行う。

また、平日休日を問わずカードの受取りの際は交付予約システムによる予約制とすることで、窓口の混雑緩和(来庁者の分散及び待ち時間の短縮)を図る。

4 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金 ※1	県支出金	地方債	その他 ※2	一般財源
千円 140,278	千円 122,117	千円 -	千円 -	千円 197	千円 17,964

※1 マイナンバーカード交付事務費補助金 10/10

※2 保険料個人負担金(197千円)

〈参考〉

1 マイナンバーカードの活用方法

- (1) コンビニでの住民票の写しや印鑑登録証明書などの取得（窓口より100円安く、休日・時間外でも取得可能。R5.11より長崎市に本籍地がある市外居住者への戸籍証明書の交付も開始。）
- (2) オンラインでの確定申告
- (3) 公的な顔写真付きの身分証明書としての利用
- (4) 健康保険証としての利用（R6.12一体化）
- (5) 薬剤情報や特定健診情報の閲覧
- (6) スマートフォンでの新型コロナウイルスのワクチン接種証明書の取得
- (7) 転出届と転入予約手続きのオンライン化
- (8) 子育てや介護に係る各種手続きのオンライン化
- (9) マイナンバーカード機能のスマートフォン搭載（R5.5よりandroidのみ開始）
- (10) 運転免許証との一体化（予定）
- (11) 公共交通系ICカードとの連携（予定）

2 マイナンバーカードの交付実績（年度別）

（単位：枚）

	国		長崎市	
	年間交付枚数	年度末累計枚数	年間交付枚数	年度末累計枚数
平成27年度	約 1,103万	約 1,103万	4,651	4,651
平成28年度			34,161	38,812
平成29年度	約 293万	約 1,396万	11,348	50,160
平成30年度	約 260万	約 1,656万	7,239	57,399
令和元年度	約 376万	約 2,032万	12,284	69,683
令和2年度	約 1,558万	約 3,590万	39,554	109,237
令和3年度	約 1,893万	約 5,483万	58,266	167,503
令和4年度	約 2,957万	約 8,440万	88,124	255,627
令和5年度 (R6.1月末時点)	約 1,339万	約 9,779万	61,501	317,128

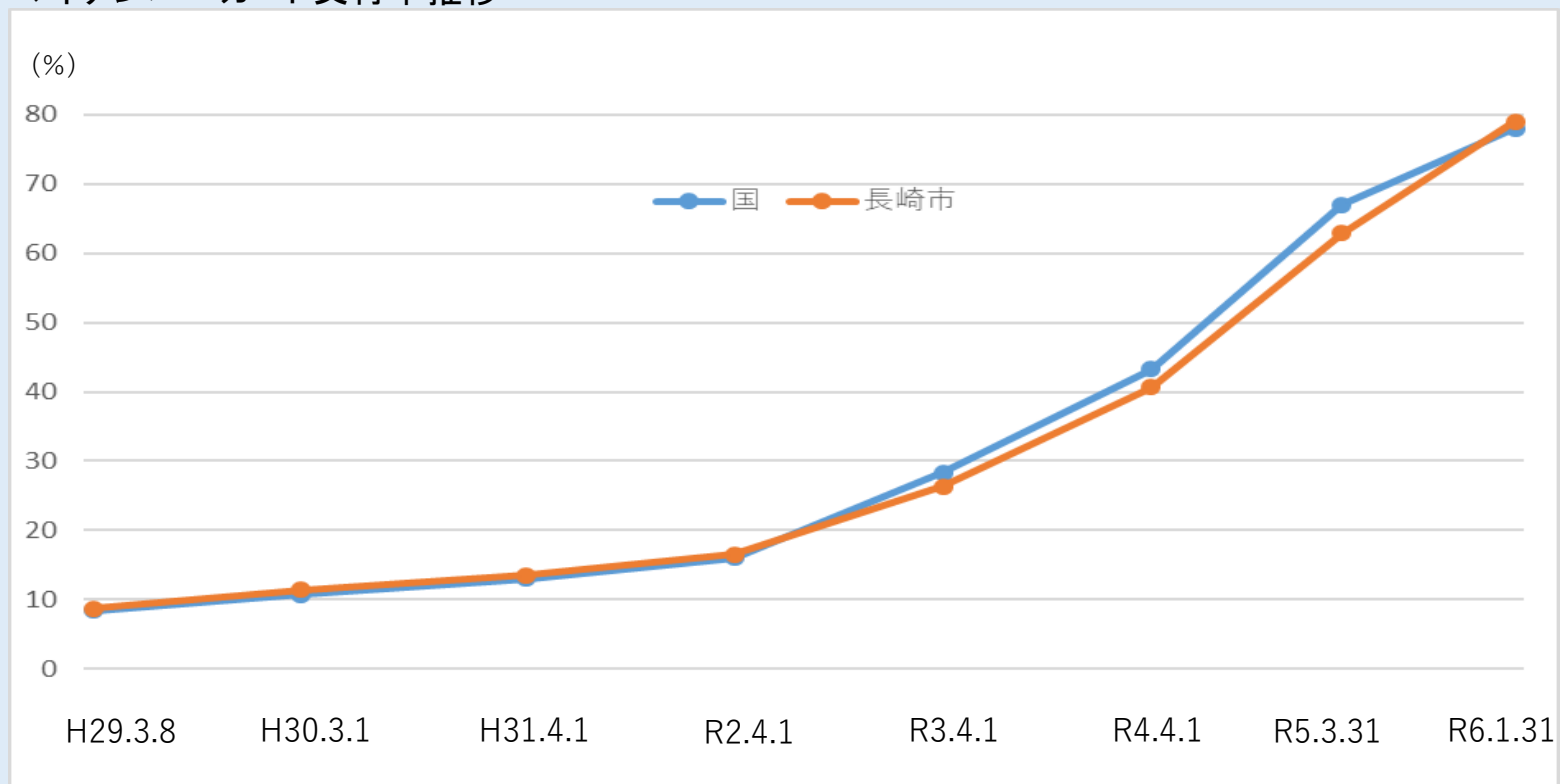
3 マイナンバーカードの交付実績（月別）

（単位：枚）

令和4年度	令和5年度							
(月平均)	4～9月 (月平均) ※	10月	11月	12月	1月	2月 (予定)	3月 (予定)	合計見込 (月平均)
7,344	9,221	1,183	1,354	1,779	1,860	1,500	1,500	64,501 (5,375)

※マイナポイント申込締切日：令和5年9月30日

4 マイナンバーカード交付率推移

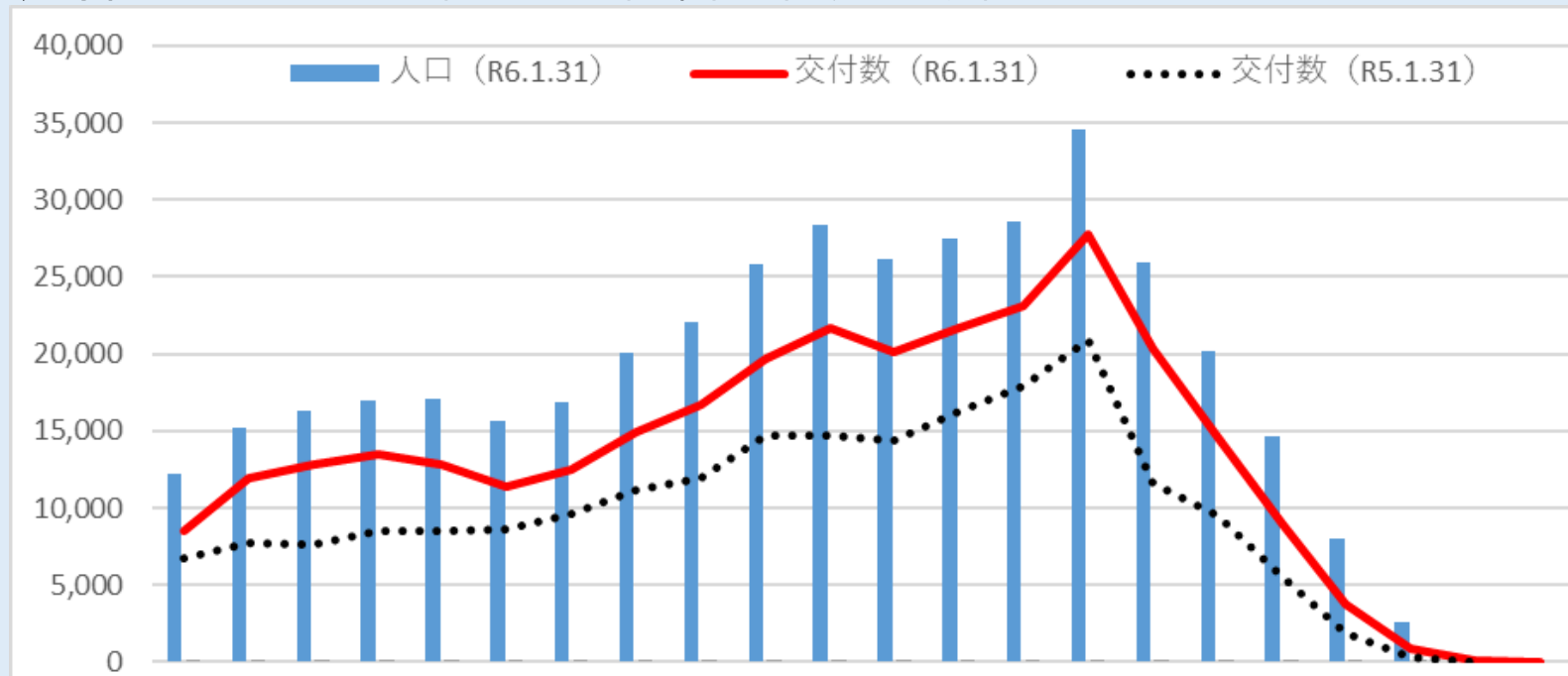


単位: (%)

	H29.3.8	H30.3.1	H31.4.1	R2.4.1	R3.4.1	R4.4.1	R5.3.31	R6.1.31
国	8.4	10.7	13.0	16.0	28.3	43.3	67.0	78.0
長崎市	8.7	11.4	13.5	16.5	26.3	40.7	62.9	79.0

※前年度の1月1日現在の人口に対する割合

5 長崎市マイナンバーカード年代別交付率(令和6年1月31日現在)



年代	0	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100	105
	4	9	14	19	24	29	34	39	44	49	54	59	64	69	74	79	84	89	94	99	104	109
交付率 (%) R6.1.31現在	69.8	78.6	79.1	79.6	75.1	72.9	74.1	74.3	75.6	76.4	76.4	76.9	79.1	80.9	80.3	78.5	72.6	61.4	46.3	31.3	16.2	0.0
交付率 (%) R5.1.31現在	43.4	49.1	45.7	49.8	50.4	53.3	54.0	53.0	51.9	52.9	53.4	55.0	58.1	59.2	58.0	53.6	48.9	39.6	27.5	16.9	6.4	0.0

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
196～199	4 衛生費	1 保健衛生費	10 火葬場費	4-1	【単独】火葬場施設整備 事業費 火葬炉改修ほか	千円 111,800

1 事業目的

もみじ谷葬斎場は市内で唯一の火葬場であり、安定した稼働を確保する必要があるため、年次計画に基づき、経年劣化した設備の改修を計画的に実施しており、令和6年度においては、火葬炉、電気集塵装置の改修及び焼骨台車製作を行う。

2 事業内容

(1) 火葬炉改修(普通炉10基のうちの2基) 20,990千円

火葬炉内の耐火物が劣化しているため、年次計画に基づき改修する。

(2) 電気集塵装置改修(6系統のうち1系統(火葬炉2基分)) 88,907千円

火葬の際に発生する排ガスを浄化する電気集塵機の集塵電極等が劣化しているため、年次計画に基づき改修する。また、併せて、設置から10年以上が経過し、腐食が進む排気筒についても改修を行う。

(3) 焼骨台車製作業務委託(保有する14台のうちの2台) 1,903千円

火葬の際に棺を乗せる焼骨台車が劣化しているため、年次計画に基づき製作し入替えを行う。



火葬炉



電気集塵装置



焼骨台車

3 スケジュール

	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
火葬炉		契約手続き	工期	
電気集塵装置	契約手続き	工期		
焼骨台車			契約手続き	工期

4 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債※1	その他※2	一般財源
千円 111,800	千円 —	千円 —	千円 80,200	千円 4,823	千円 26,777

※1 一般単独事業債 充当率75%(交付税措置率 —%)

※2 火葬場費負担金

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
224～227	7 商工費	1 商工費	1 商工総務費	4-1	消費生活相談費	25,662 千円

1 現状と課題

多様化・専門化する消費生活相談への的確な対応を図るため、公的資格を有する消費生活相談員が消費者センターに寄せられる苦情等に対して「あっせん」や「助言」を行い個別事案の解決に努めている。

また、長崎市消費者安全確保地域協議会(R3.1設立)の構成機関及び関係所属と連携して高齢者等の配慮を要する方の消費者被害の未然防止・早期発見・早期回復を図っている。

一方で、当協議会を設立したことで連携できる体制は構築できたものの、構成機関の「見守り活動」に従事する現場の方への周知については、各構成機関において現場の方が一堂に会する機会を作ることの困難性などを理由に、十分に進んでいないのが現状である。

2 対応方針

新たな周知方法として、見守りにおける気づきのポイントや、よくある消費者トラブルの事例の情報を盛り込んだ「見守りハンドブック」を作成・配付することにより、現場の方まで伝わるよう周知を図り、もって、高齢者、障害者等(要配慮消費者)の消費者被害の未然防止・早期発見・早期回復の促進を図る。

3 事業内容

【新規の取り組み】

要配慮消費者の見守りハンドブック作成・配付 1,626千円

1 費用内訳

・見守りハンドブック作成業務委託料 1,457千円

(6,700部)

・郵送料等 169千円

2 記載事項(案)

(1)見守り活動時に注意すべきポイント

(2)消費者トラブルの事例及び対応例

(3)消費者トラブル対応時の簡易マニュアル及び通報シート

(4)相談窓口等連絡先 など

3 配付対象者

長崎市消費者安全確保地域協議会の構成機関及び

庁内関係所属に属する職員

約7,000名(約230箇所)

※庁内関係所属職員、希望する構成機関に対しては

デジタルデータ(PDF・デジタルブック)を配付

ハンドブックイメージ
(広島市作成分)



4 スケジュール

	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
原稿検討・調整				
発注・印刷				
配付（発送）				

4 事業費内訳（新規の取り組みを含む）

区 分	事 業 費	備 考
人件費	22,882千円	消費生活相談員5名 消費者苦情処理委員会委員4名分
報償費	370千円	弁護士相談謝礼金、庁内研修講師謝礼金
出張旅費	97千円	特定商取引法制度等説明会（福岡市）等
事務費等	856千円	研修受講料、消耗品、郵送料等
委託料	1,457千円	見守りハンドブック作成業務委託料

5 財源内訳

事 業 費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金※1	地方債	その他※2	一般財源
千円 25,662	千円 —	千円 813	千円 —	千円 115	千円 24,734

※1 長崎県消費者行政推進補助金 補助率1／2

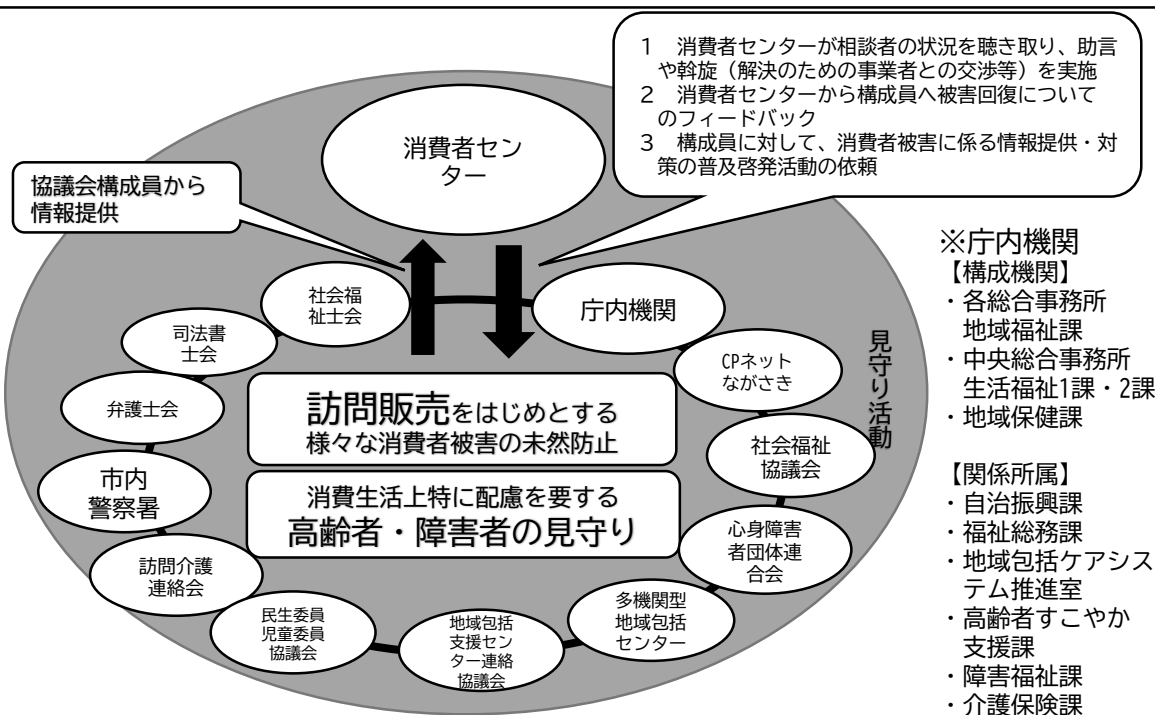
※2 保険料個人負担金

長崎市消費者安全確保地域協議会

趣旨：高齢者や障害者（高齢者等）の「配慮を要する消費者」を見守るためのネットワーク

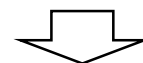
効果：今ある見守りネットワークの機能に「様々な消費者被害の未然防止・早期発見・早期回復」が加わり、消費者行政の観点での「高齢者等の安全・安心の確保」の推進が図られる。

長崎市消費者安全確保地域協議会体制図

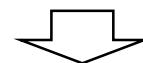


地域協議会の取組

- 高齢者等の消費者被害の未然防止のための情報共有
- 既存の見守り活動の中で発見された高齢者等の消費者被害を消費者センターへつなげる
気付き・声かけ・つなぐ



- 消費者被害の早期発見による、被害の拡大防止
- 「助言」や「斡旋」による消費者被害の早期回復



- ★ 福祉サービスにつながっていない高齢者等を発見した場合は、成年後見人制度や日常生活自立支援事業等、必要な制度・サービスにつなげる

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
302～303	10 教育費	7 保健体育費	3 体育振興費	1 - 4	社会体育行事開催費	千円 32,952

1 現状及び対応方針

競技団体や長崎市スポーツ協会等と連携し、市民体育・レクリエーション祭や長崎ベイサイドマラソン等のスポーツイベントを実施しているが、各種スポーツ・レクリエーションイベントへの参加者はコロナ前と比べると減少している。

このため、市民が気軽にスポーツやレクリエーションに親しめるよう、スポーツイベントを実施し、「するスポーツ」の振興を図る。

	実績値				
	H30	R1	R2	R3	R4
各種スポーツ・レクリエーションイベントへの参加者数	14,830人	14,799人	4,645人	5,496人	11,062人



2 事業概要

競技団体等と連携し、各種スポーツイベントを開催する。

(主なスポーツイベント)

事業名	予算額	内容など
はじめようスポーツ体験教室	4,082千円	・開催時期 令和6年8～9月 ・会場 出島メッセ長崎
市民体育・レクリエーション祭	6,146千円	・開催時期 令和6年10～11月中旬 ・会場 市内体育施設など
長崎ベイサイドマラソン	20,000千円	・開催時期 令和6年11月中旬 ・会場 長崎水辺の森公園 ほか
長崎新春駅伝大会	890千円	・開催時期 令和7年1月 ・会場 かきどまり総合運動公園
レクリエーション・スポーツ教室など	1,834千円	市内4地区でグラウンド・ゴルフ、ボッチャなどのスポーツイベントを開催

3 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他 ※	一般財源
千円 32,952	千円 —	千円 —	千円 —	千円 11,899	千円 21,053

※ 地域活性化支援事業助成金 7,410千円
 スポーツ振興くじ助成金 事業費(4,082千円)の4/5
 新春駅伝参加費・各種大会保険料個人負担金など

予 算 説 明 書					事 業 名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
302～303	10 教育費	7 保健体育費	3 体育振興費	1-5	プロスポーツ応援事業費	千円 29, 591

1 現状及び対応方針

長崎市をホームタウンとするプロスポーツチームであるV・ファーレン長崎及び長崎ヴェルカのホームゲームへの招待事業を中心に「みるスポーツ」の振興を図っている。

引き続き両チームの応援機運とスポーツへの関心を高めるため、プロスポーツの招待事業を拡大し、プロチームの試合を間近で見ることで、子どもたちがスポーツに関わるきっかけづくりを行う。

また、令和6年10月に長崎スタジアムシティが開業予定であることから、地元プロスポーツチームの応援機運をさらに高めるための取り組みを行う。



2 事業概要

(1) V・ファーレン長崎及び長崎ヴェルカの応援事業 26,774千円

ア 【拡大】市民応援DAY(小・中学生と保護者ペアの招待) 16,143千円

チーム名	予算額	事業内訳
V・ファーレン長崎	10,742千円	【拡大】招待数 2,000組 4,000人 (R5 1,600組 3,200人)
長崎ヴェルカ	5,401千円	【拡大】招待数 900組 1,800人 (R5 600組 1,200人)

イ 【継続】パブリックビューイングの実施 958千円

V・ファーレン長崎及び長崎ヴェルカのアウェイゲーム各3試合についてパブリックビューイングを実施

ウ 【拡大】その他PR費 9,673千円

のぼり、応援タペストリー等作製・設置、ホームページ、SNSでの発信など

2 事業概要

(2)【継続】プロスポーツ公式戦(プロ野球・ラグビー)の応援事業 2,817千円

ア プロ野球の応援事業 小・中学生と保護者ペアの招待 1,409千円

開催日	対戦カード	招待数
8月29日(火)	福岡ソフトバンクホークス VS オリックスバファローズ	200組 400人

イ ラグビーの応援事業 小・中学生と保護者ペアの招待 1,408千円

開催日	対戦カード	招待数
4月13日(土)	三菱重工相模原ダイナボアーズ VS トヨタヴェルブリッツ	200組 400人

3 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金※1	県支出金	地方債	その他※2	一般財源
千円 29,591	千円 14,795	千円 —	千円 —	千円 4,078	千円 10,718

※1 デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ) 国庫補助率 事業費(29,591千円)の1/2

※2 企業版ふるさと納税寄附金

予 算 説 明 書					事 業 名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
302～305	10 教育費	7 保健体育費	4 体育施設費	4-1	【単独】体育施設整備事業費 淵中学校運動場	千円 37,200

1 現状及び対応方針

社会体育の普及のため、「学校開放」として学校施設を市民の利用に供しているが、年次計画に基づき、老朽化が進行している淵中学校運動場の夜間照明設備について、利用者サービスの向上につながるよう改修工事を行うもの。

2 施設概要

長崎市立淵中学校運動場

【所在地】 長崎市梁川町21番5号

【延面積】 約8,266㎡

【構造等】 夜間照明設備（鉄筋コンクリート造、昭和53年設置（築45年））

利用者数	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	2,421人	4,573人	2,743人	1,993人	3,905人

3 事業概要

老朽化が進んでいる投光器等の取替えを行うとともに、ゼロカーボンシティの実現に向けて、照明設備のLED化を図るもの。

【工事概要】投光器42個（照明柱6本分）、誘虫器3台の改修

4 現況写真



5 スケジュール

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
夜間照明 設備改修 工事	契約 手続き		工 期						

6 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債 ※	その他	一般財源
千円 37,200	千円 —	千円 —	千円 33,400	千円 —	千円 3,800

※ 脱炭素化推進事業債 充当率90%(交付税措置率30~50%)

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
304～305	10 教育費	7 保健体育費	5 市民プール費	2-1	【単独】市民プール施設整備事業費 市民総合プール	千円 10,100

1 現状及び対応方針

市民総合プールにおいては、汲み上げた井戸水を雑用水ポンプユニットでプール各所に配水し利用しているが、設置から27年経過し経年劣化していることから、利用者が施設を快適に利用できるよう機器の取替えを行うもの。

2 施設概要

長崎市民総合プール

【所在地】 長崎市松山町2番2号

【構造】鉄筋コンクリート造

地下1階地上3階建

【建築年月】平成8年9月(27年経過)

利用者数	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
	166,413人	144,584人	84,479人	74,571人	112,330人

3 事業概要

【工事概要】

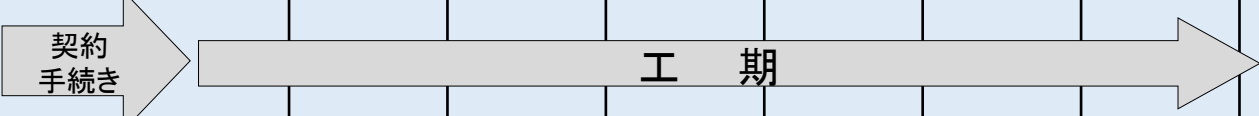
井戸水を施設内各所へ配水するための雑用水ポンプユニットの取替えを行うもの。

ポンプ能力(取替後)

5.5kw×2台、660ℓ/min以上



4 スケジュール

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
雑用水ポンプユニット取替工事									

5 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債 ※	その他	一般財源
千円 10, 100	千円 —	千円 —	千円 7, 500	千円 —	千円 2, 600

※ 一般単独事業債 充当率75%(交付税措置率 — %)